

連絡各幸役

NO 474

あだち

天理教足立支部
立教185年
令和4年
2022年8月9日

「支部長室」

「夏休みこどもひのきしん」

暑中お見舞い申し上げます。

暑い中、皆様方いかがお過ごでしょ
うか。異常気象状況の不安定の中、猛暑
や大雨の被害の情報を、テレビ等で見聞
きして、もし我事だったらと置き換えて
~~我事~~と考えたら重大な出来事ですね。

国内事情にかまけて、ロシアのウクライナ攻撃の悲惨な戦争が続いている。

それより日本ではコロナオミクロン株BA5の蔓延が世界1の感染数になってBA5から新たなBA2,75株ケンタウロスと言う新種株が日本とイギリスで確認されました。この感染力は従来株の43.1倍と発表されました。もしもこの株が蔓延すると、東京だけでも毎日10万人を越える感染者数になってしまう恐れがあります。

気を引き締めて感染対策に心がけましょう。

9月は、にをいがけの月となり、各教会には、にをいがけリーフレットが配布されました。

支部行事としては形を変えて活動場所を分けて、北千住駅、綾瀬駅、竹ノ塚駅と3ヶ所で、午前・午後・夕方と、人数を分けて行う事を検討しています。決定次第、9月号連絡報あだちでお知らせしたいと思います。何卒ご協力を頂きますよう宜しく願い致します。

尚、各地域でのにをいがけ活動を行う事も各自、各教会でご検討下さい。

* 支部長 須賀 瞳司 *

少年会本部では現在「夏休みこどもひのきしん」を提唱し、教会や地域、家庭に於て少年会員が毎日を元気に過ごせる事への感謝の心を持ち、進んでひのきしんに取り組めるようになる事を目指しています。

おぢばでは7月26日午後、教会本部インホメーションセンター北側に「こどもひのきしんセンター」が解説。さらに、西泉水プール前広場や、おやさとやかた南右第2棟などを会場に「お楽しみ行事」も実施されるなど、子供たちの「感謝の心」を育む、親里での受け入れがスタートした。

26日午後、教会ぐるみで、また家族ぐるみで帰参し、本部月次祭に参拝した道の子が続々と「こどもひのきしんセンター」へ。少年会本部スタッフからひのきしんの説明を受けたのち、本部神殿での回廊ひのきしんや境内地の掃き掃除などに取り組み、おぢばがえりの喜びを味わった。

このほか、晴天のみと、ピッキーひろばなどの「お楽しみ行事」で元気いっぱいに遊ぶ子供たちの姿が見られた。

なお、親里での受け入れは、8月28日まで行われる。(みちの子作品展は31日まで)

下記のQRコードから「夏休みこどもひのきしん」の特設ページにアクセスできます。



あらきとうりょう

巻頭言

より

我が家では毎日「ありがとう祭り」が開催されている。読んで字のごとく「ありがとう」をたくさん口にするお祭りである。

例えば、ご飯を食べるときに「神様、いただきます。ありがとうございます」

食べ終われば「お母さん、おいしかったよ！ありがとう！」または湯船に浸かったとき、トイレで便が出たとき、朝起きてもらったとき、などなど。

メインイベントは、夕食時の「ありがとう発表会」だ。みんなで順番に、今日一日の「ありがとう」を発表していく。食卓には笑いが絶えない。とにかく我家では一日中、いろいろな種類の「ありがとう」が飛び交っている。

始めたのは昨年、3月例会の席上、青年会長様は「日々の生活をより陽気なものにするために、まず挨拶を意識しようと決めました。名付けて、『挨拶強調期間』であります」と話された。

これを受けて、以前から我が家で大切にしていた「ありがとう」の言葉を一人ひとりが口にすることで、家族ぐるみで感謝の心を育みたいと思ったのがきっかけだった。

あるとき、兄弟ゲンカをした次男が、私のところにきついてきた。「おとへちゃ～ん！お兄ちゃんに泣かされた！ありがとう～～」。え！どういうこと？(笑)



きっと「ありがとう」の意味は分かっていないのだろうが、純真無垢な子供の姿を通して、いつも再確認させてもらうことがある。それは、ケンカができるのも、泣くことができるのも、全ては親神様の御守護の賜物であるということ。

ややもすれば、私達は慌ただしい生活の中で、日々お守りいただいている大恩を忘れてはいないだろうか。

ふしに込められた親心を悟れずに、人間思案に陥り、気が付けば不足ばかりで喜べない心になっていないだろうか。

今、生かされているという事実。親神様の壮大で計り知れない御守護の数々。

こうした事に気付き「感謝」の心を持つことが出来たとき、全てのことが「喜び」に変わっていく。

「ありがとう祭り」の毎日は、いずれ子供たちの心に、そんなイノベーションを起こしてくれる事と信じている。

感謝の心を育む 少年会員の夏！

夏休み こどもひのきしん

